

各委員からの プレゼンテーション資料

岩手県における医師確保対策の現状と課題

岩手県立中央病院長

樋口 紘

1. 岩手県立 27 病院ネットワークと県立中央病院の地域医療支援 P17
2. 岩手県における医師確保対策の関連組織のイメージ P44
3. 本県の現状について 資料 1 P7
4. これまでの医師確保対策事業の概要 資料 2 P30
5. 医師確保対策アクション・プラン（案） 資料 3 P34
6. 医師確保ワーキンググループ検討結果 P41
7. 臨床研修カリキュラム（地域医療研修と後期研修コース） P48
8. 新医師臨床研修制度の地域医療への影響の現状（別冊）－参考 P53
9. 臨床研修医募集ガイドー参考 P61

県立病院群の一体的・効率的運営

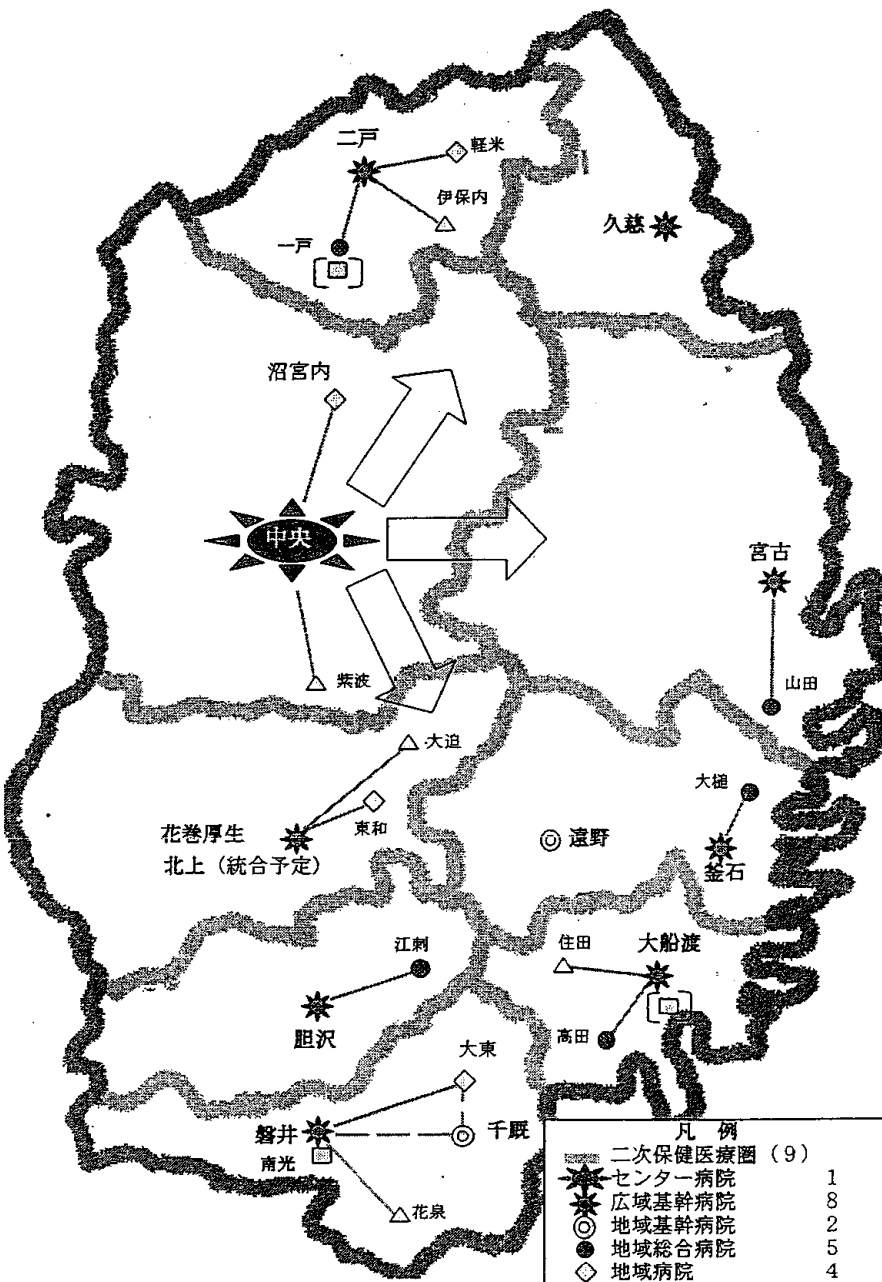
センター病院 広域基幹病院

- 二次又は三次レベルの救急医療機能（救命救急センター 大船渡、久慈）
- 特殊・専門医療機能（センター病院はさらに高度・先進医療機能）
- ・基本的機能
 - がん治療、心疾患、脳疾患、腎不全、リハビリテーション医療
- ・拡張的機能（医療資源と需要等により対応）
 - 小児医療、周産期医療、終末期医療（緩和ケア病棟・病床）、感染症
- 臨床研修病院 ●災害拠点病院
- 地域医療支援（市町村立病院への応援等を含む）・地域医療連携
- ※病床機能 急性期～回復期 など

地域基幹病院

- 二次救急医療機能
- 一般総合医療機能
- 特殊・専門医療機能
 - 腎不全、リハビリ医療
- 地域ケア支援機能
- 臨床研修病院
- ※病床機能
 - 急性期～回復期～慢性期 など

県立病院群の一体的運営計画図



地域総合病院

- 二次救急医療機能
- 一般総合医療機能
- 特殊・専門医療機能
 - 腎不全、リハビリ医療
- 地域ケア支援機能
- ※病床機能
 - 急性期～回復期～慢性期 など

地域病院

- 初期救急医療機能
- 一般医療機能
- 地域ケア支援機能
- ※病床機能: 回復期～慢性期 など

診療所（19床以下）

- プライマリケア
- 地域ケア支援機能
- 訪問看護 など

精神病院（精神病床）

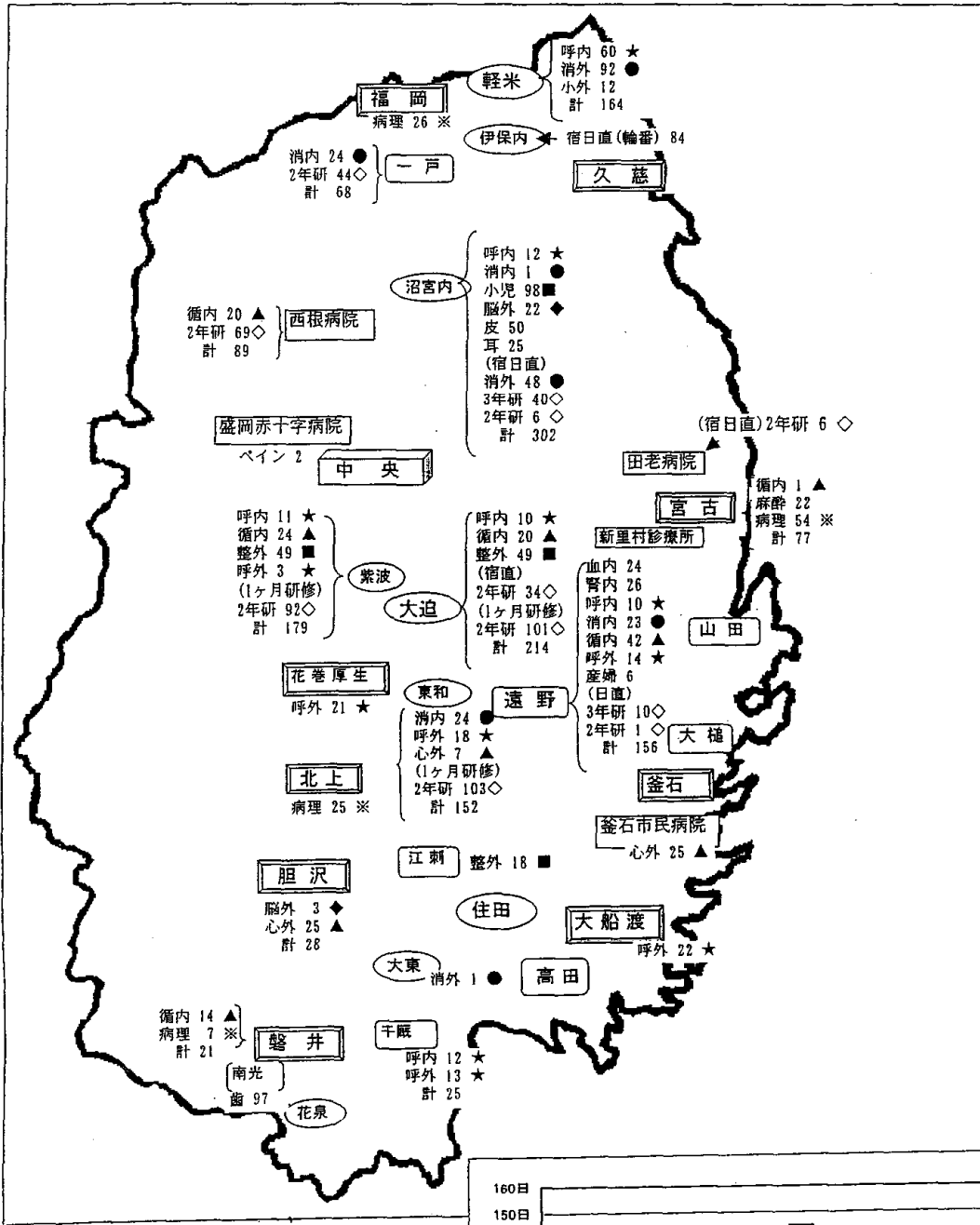
- 精神科救急医療（南光、一戸）
- 地域ケア支援機能
- 精神医療機能 など

凡例

二次保健医療圏 (9)	9
センター病院	1
広域基幹病院	8
地域基幹病院	2
地域総合病院	5
地域病院	4
診療所 (19床以下)	5
精神病院	1 (精神病床 2)

—— 保健医療圏内の一体的運営
 → 全県域への支援等（センタ-病院）

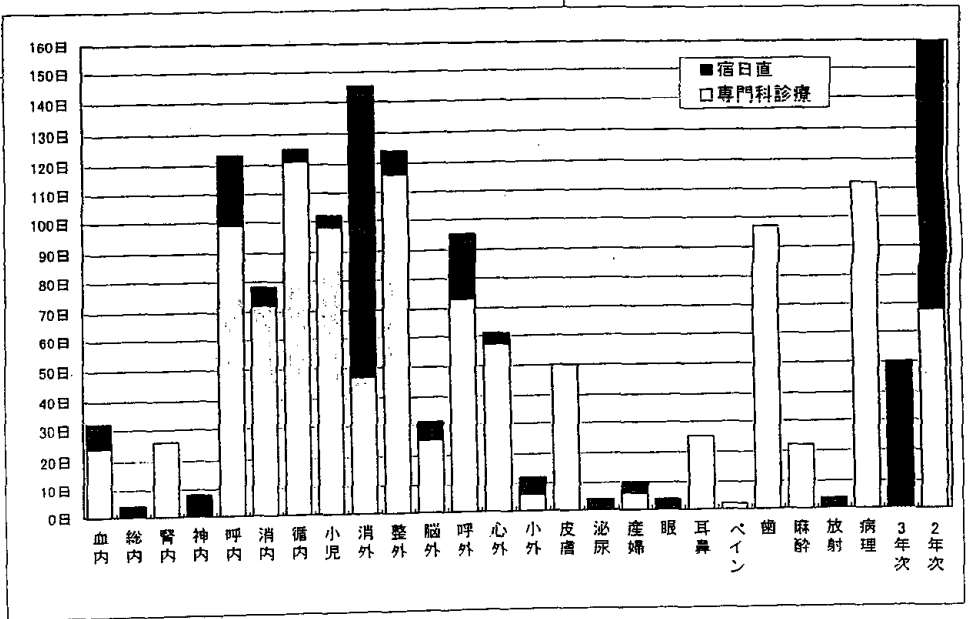
平成 15 年 度 診 療 応 援 実 績 マ ッ プ



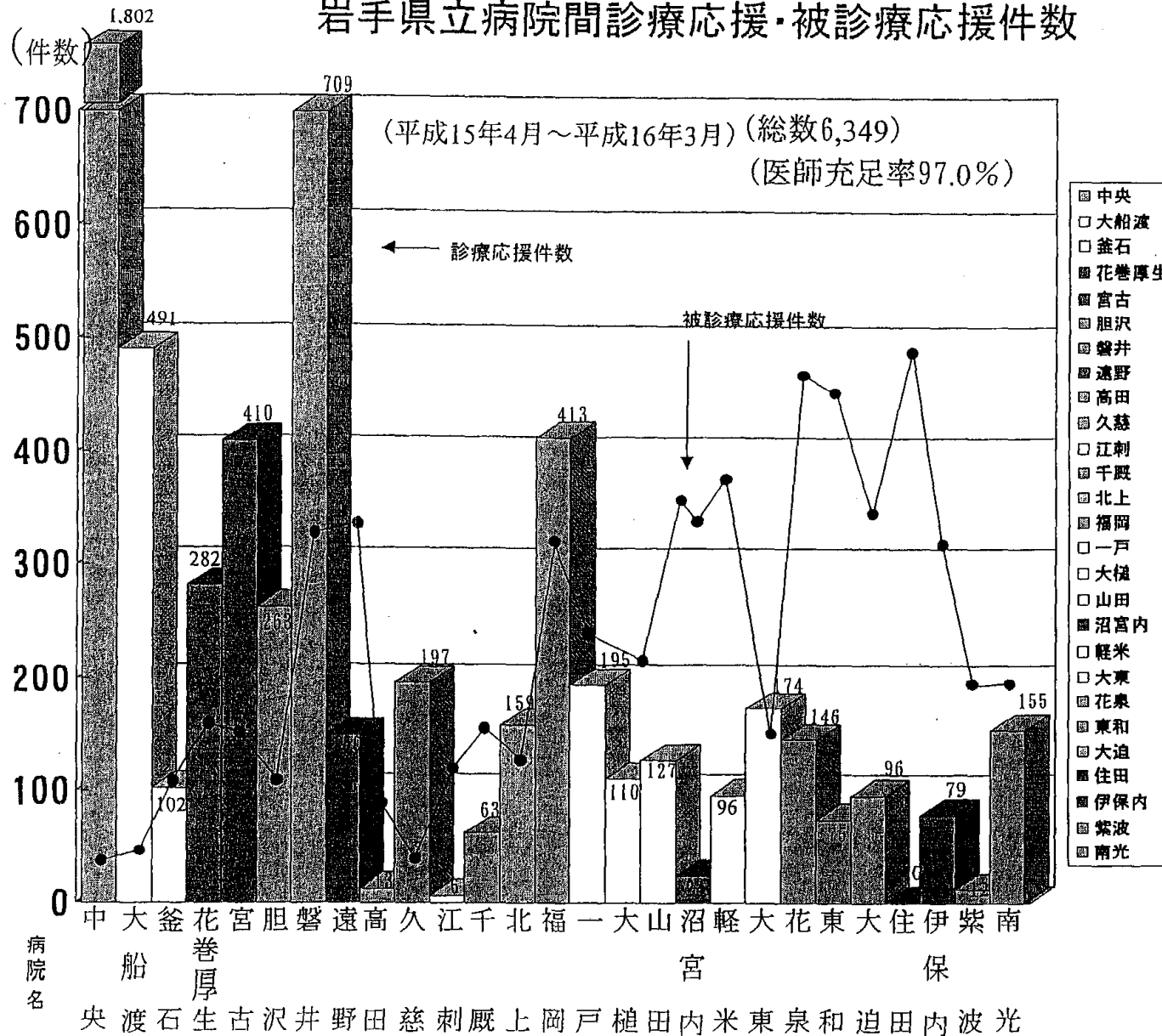
診療科別応援日数合計

区分	凡例	専門科診療	宿日直	計
血内		24	8	32
総内		0	4	4
腎内		26		26
神内		0	8	8
呼内	★	99	24	123
消内	●	72	6	78
循内	▲	121	4	125
小児	■	98	4	102
消外	●	47	98	145
整外	■	116	8	124
脳外	◆	25	6	31
呼外	★	73	22	95
心外	▲	57	4	61
小外		6	6	12
皮膚		50		50
泌尿		0	4	4
産婦		6	4	10
眼		0	4	4
耳鼻		25		25
ペイン		2		2
歯		97		97
麻酔		22		22
放射		0	4	4
病理	※	112		112
【地域医療部】(研修医)				
3年次	◇	0	50	50
2年次	◇	68	92	160
2年次(1ヶ月研修)	◇	296		296
合計		1442	360	1802

- 一凡例一
- センター病院(県立)
 - 広域中核病院(県立)
 - 地域総合病院(県立)
 - 地域病院(県立)
 - 精神病院(県立)
 - 他の医療機関



岩手県立病院間診療応援・被診療応援件数



(医師充足率) 146.0 76.3 74.0 94.6 97.1 104.4 119.0 71.4 89.9 103.1 72.7 85.8 100.9 91.2 85.5 71.3 64.7 98.0 102.5 77.8 85.2 71.2 99.9 97.3 86.8 137.7 109.8

岩手県における医師確保対策の関連組織イメージ図

地域医療対策協議会

- ・ 地域医療を担う医師の養成・確保と県内への定着に関すること
- ・ 医師派遣体制・養成医師の配置に関すること

※大枠での議論：医師確保・提供体制の方向性

地域医療支援機構

- ・ 医師派遣要請に関すること
- ・ 養成医師の義務履行の促進
- ・ 県内医療機関への就職相談及び広告その他の情報収集に関すること
- ・ 地域医療従事医師の研修等の指導及び支援

※ 具体的議論、医師派遣のコーディネート

地域医療支援委員会

自治医大養成医師
配置検討・協議

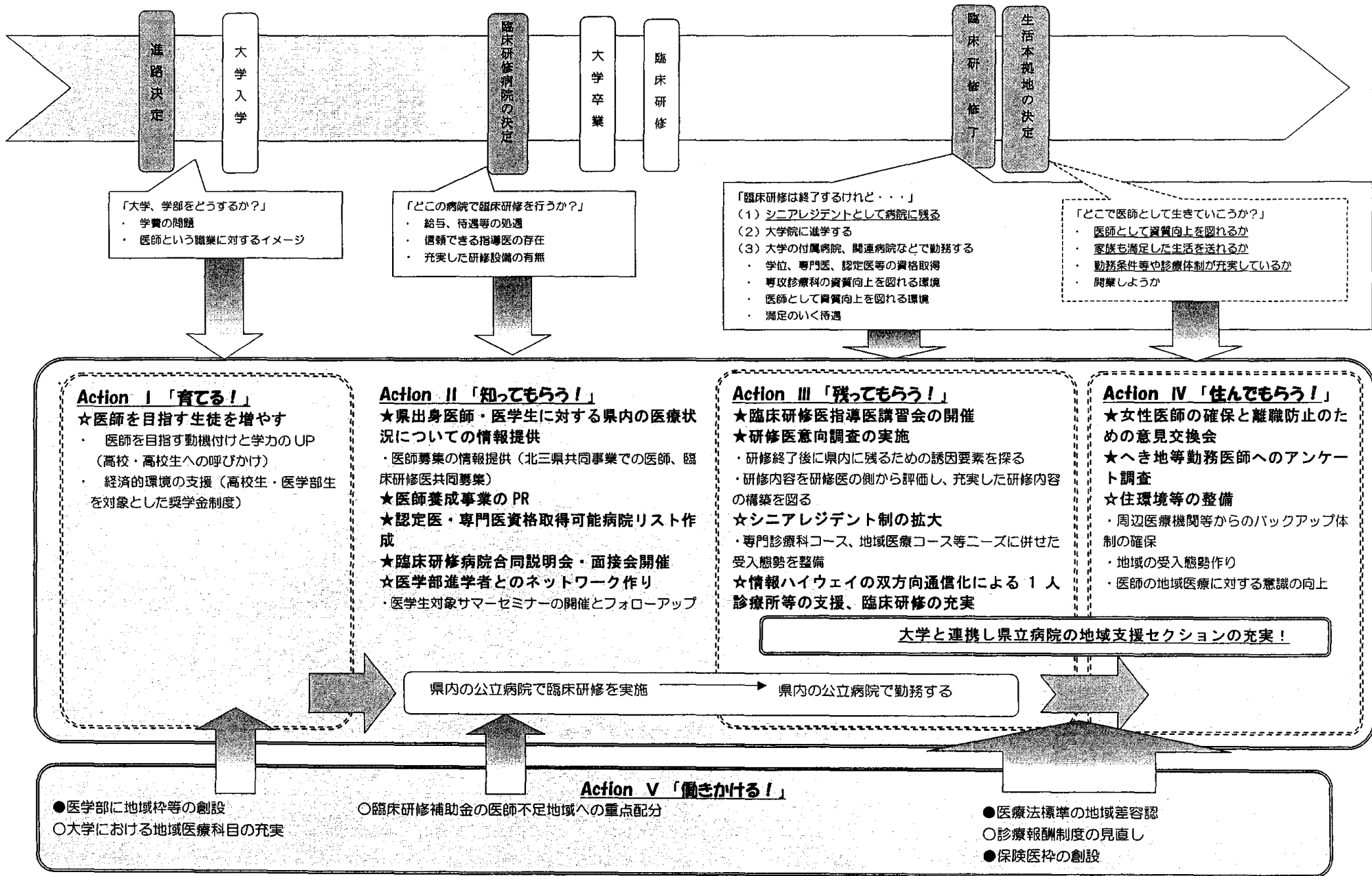
市町村医師養成協議会
・ 国保施設医師募集

岩手医科大学

県

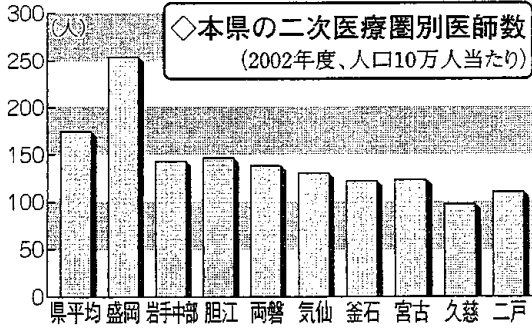
国保連

医師確保対策 Action Plan



医師育成 高校生にPOP

医師という職業に理解を深めてもらうため、盛岡市の県立中央病院で、高校生や保護者を対象にした医学部進学セミナーを開催。ベテラン・若手医師が講師となり、やりがいや勉強方法などの質疑応答、救急現場などの見学を予定している。医師不足が深刻化する中、県は早い時期に動機付けを行い、担い手育成につなげる考えだ。



県、来月セミナー開催 担い手の県定着へ模索

医療現場の見学も

セミナーでは、同病院の樋口統院長が「医者って何だろう?」と題し講演。若手医師三人によるフリートークも行われ、医学部の入学試験、学生生活、卒業後の進路など、具体的なテーマについて質問に答える形で進める。医師の案内で、同病院の手術室や医局、救急現場など医療現場の見学も予定している。

本県は全国と同様、二〇〇四年四月から始まった新臨床研修制度の影響で、大学病院が派遣を中止するなど医師の絶対数が不足し、小児・産婦人科などが常勤医不在の危機に追い込まれている。

そのため県は▽二次保健医療圏ごとに臨床研修

体制を整備▽指導医の質向上へ講習会開催▽医学生への奨学金貸し付けなど、さまざまな対策を打ち出している。

しかし依然として医師不足は深刻で、地域差も大きいことから、県医師会や市町村関係者らで地域医療対策協議会を昨年設置。今回のセミナーのほか、医学部生対象のサマーセミナーなど、本県に医師が定着するためネットワーク構築を模

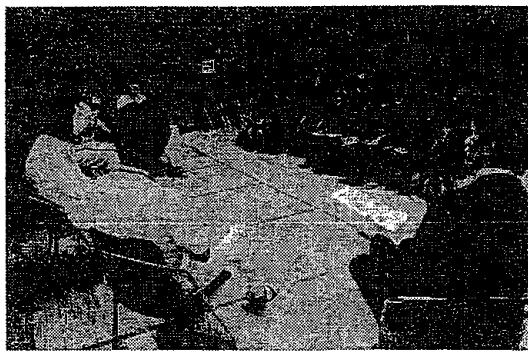
索している。

同課の石田啓一医療担当課長は「高校生で医師や理科系に進路を希望している人はこのセミナーに参加してもらい、将来はぜひ岩手で活躍してほしい」と願う。

セミナーは参加無料。県立中央病院四階大ホールで、午後一時から同四時半まで。問い合わせは同課(019・629・5407)へ。

高校生に医師の心得

盛岡で医学部進学セミナー



が最低限持っていないければならないものは、人をいたわる気持ちだ」と力を込めた。

フリートークでは若手医師三人が会場の質問に

答えた。会場からは「高校生の時にやっておけば良かった」と題しては「女性らしく生きさせるとは、仕事は」と具体的な質問が次々と寄せられ、保護者からは医学部卒業までの学費を心配する声も聞かれた。

県主催の医学部進学セミナーは六日、盛岡市の県立中央病院で開かれ、医師をを目指す高校生らがベテラン、若手医師の言葉に熱心に耳を傾けた。

高校生、保護者約百五十人参加。佐藤敏信県保健福祉部長は「理数系が得意だから医学部を目指す人もいるが、現場では幅広い知識が求められる」と指摘し、目的意識を持つことの必要性を説いた。

「医師ってなんだ?」と題し講演した樋口統院長は「一人を助けることで、家族や同僚など約五百人が救われることになる」と医師という職業の尊厳を強調。その上で「医師を目指す人

医師の魅力や厳しさを紹介したセミナー

同病院院長は「一人を助けることで、家族や同僚など約五百人が救われることになる」と医師という職業の尊厳を強調。その上で「医師を目指す人